

# 阿蘇へ移住して10年目

向井幸治

早いもので阿蘇へ移住してから今年の3月で10年目に入りました。その間、地震や噴火などに遭いましたが、その後は大きな災害もなく大自然の中で家族、ペットと楽しく暮らしています。大きな出来事と言えば、今年2月無事、古希を迎えられたことです。還暦の年阿蘇に移り住み、古希を迎えた現在までの暮らしのトピックスを思い出を交えながら、幾つか紹介したいと思います。

## 仕事は夜間警備

現在、週1,2回夜間警備の仕事をしています。時間は、17時から翌朝8時30分で仮眠もとることができます。警備をする前は、暖房用のパッケージボイラーと温水ボイラー（風呂）大ホールの暖房用熱風炉のオペレーターをしていましたが、仕事の内容は現役時代にしていた事と殆ど変わりませんでした。STRやバーナーチップなどの清掃、燃料の受入れや在庫管理、お風呂の残留塩素測定し薬品の注入量調整などでしたが、燃料高騰や環境問題などで3年前にボイラーは廃止となりました。有難いことに失業した私のことを心配して下さり警備の仕事を試してみませんかとお誘い戴き受けることにしました。



「国立阿蘇青少年交流の家」の前で

入社試験は、一応形式的な面談（雑談）を行い、これで終わりと思ったら今から試験をしますから・・・「えっ！」この年齢になって恥かかせないでよ。新任の教育試験ですからと言われ渋々とりかかりました。警備に関する問題が15問あり全部記入式の問題でした。困ったことに漢字がなかなか出てこず携帯で調べるわけにもいかず、言葉を探しながらの解答となり採点結果はあまり良い出来ではありませんでしたが、試験の中で面白い問題がありましたので書いてみます。「回れ右・・・」はどういう動作ですか？実際に回れ右をするのは簡単にできますが文章での説明となるとどう書けば良いのか混乱してしまい、この問題に多くの時間を使いました。

## 夜間巡回中に野生の鹿救助

警備の夜間巡回では予想外な事が色々起こります。

グラウンドには鹿の糞が沢山落ちており普段から行き来していることは分かっていた。この日は宿泊者は居なくて私一人の勤務でした。巡回でグラウンドに差し掛かった時、サッカーのゴールネットに鹿が絡み疲れ果てた様子でいました。近づくると暴れだし少し恐怖心はありましたが解放してあげたい気持ちが強く、また厚手の防寒着を着ていたので突かれても大丈夫だと思い、絡んだネットを外しに掛かりましたが複雑に絡み容易ではありませんでした。ハサミを使えば簡単に外せると思いますが後で何を言われるか分からないので止めました。

暫くすると大人しくなり時折クーンと鳴き、泣いているようにも聞こえました。頭を撫で撫でしながらムツゴロウさん口調になっていました。時間は掛かりましたが何とか絡みが解けて解放することができ鹿は山へ駆けていきました。地元の人耳に入れば直ぐに飛んできてジビエに成るところでした。

## 巨木倒壊



—昨年8月、風雨の強い嵐の日に巨木（直径45cm）が倒れてきました。ものすごい音で雷が落ちたと思いましたが、DIYの薪棚とウッドデッキの屋根が凹み、軽自動車のガラスが割れる被害に遭いましたが、住居本体には被害は無くひと安心しました。住宅のスタッフに山林の所有者を調べて頂き仲介をお願いしました。所有者は、父親から相続された福岡在住の方で寝耳に水の話で大変驚かれたのではないかと思います。

被害写真を数枚と、他にも倒れそうな木が何本か有ることを伝えて頂きました。私の方は早く倒木を片付けたかったのと、倒れそうな木も何とかして欲しいと思っていました。相手方はかなりの金額になるのではないかと気にされているようでしたが私は被害を受けた材料費だけを請求して、倒木と倒れそうな木は私が伐採して薪として頂く事で話は決着しました。

チェーンソーの扱いは、地元の森林組合で間伐の実践体験に数日通い教えてもらいました。普段から薪づくりで使用していて、ご近所さんの木も頼まれて何度か伐採しているので不安はありません。伐採した木は倒木も含めて5本になりましたので、2年分ぐらいの薪の量にはなりました。相手方より思いがけない話もありました。山林を手放したいから購入しないかと。薪には困らないだろうけど、そんな余裕もないのでお断りしました。



## 念願のキャンピングカー購入



昨年3月に欲しかったキャンピングカーを購入しました。年齢的にも運転できるのは長くて10年、今しかない。思い立ったら即行動。一か月後には念願叶っていました。車は日産キャラバンNV350を車中泊用にビルダーがカスタマイズしたもので大人3人は就寝可能です。家電などいろいろ揃ってはいますが車中での料理は殆どせずに、せいぜい朝コーヒーを飲むぐらいです。手始めは近場へ1~2泊の温泉巡りへ出かけました。

車中泊は、窮屈で眠れないのではないかと心配していましたがフルフラットで広さも十分あり問題なく熟睡できています。車中泊する場所は、主にRVパークやオートキャンプ場でたまに道の駅を利用しています。RVパークやオートキャンプ場は有料ですが設備が整っていて（24Hトイレ、100V電源、ごみ処理、入浴施設が近くにある、コインランドリーなど）ゆっくり寛ぐことができます。妻は3泊が限度なので長旅のときは途中で宿に泊まりリセットして旅を続けます。

## 四国周遊の旅へ

昨年の10月、兄妹3人と犬一匹で一週間四国周遊の旅をしました。3人とも前期高齢者なので元気うちに旅しないかと誘ったら「連れて行って」となり計画を立てました。生まれてこの方、一緒に旅行などしたことはなく子供の頃に初詣に出かけた白黒の写真が有るくらいで、それすら記憶にはありません。

名所や名物など考えると、とても一週間では巡れず苦心しましたが、高速道路を上手く利用することでなんとか計画を立てました。この旅でとても楽しみにしていた場所がありました。それは秘境・祖谷溪の大歩危、小歩危、かずら橋、更にもその奥にある限界集落の案山子の里です。紅葉にはまだ早い時期でしたが車窓から見える溪谷の深さや断崖絶壁、エメラルドグリーンの川面は迫力がありとても美しい景色でした。



キャンピングカー車内の様子

昔、黒部溪谷の下ノ廊下（旧日電歩道）を歩いた時の事を思い出していました。200mの絶壁にある小便小僧は遠くから眺めましたが、昔はここで度胸試しをしていたそうです。かずら橋は思ったほど怖くはなかったと妹は言っていました。足元の隙間は広くてキィキィと擦れる音はするし、揺れるし、手摺にしがみついて動こうとしない人もいて人を眺めているほうが面白い光景でした。

## 四万十川のうなぎを食す

食べるほうで楽しみにしていたのは四万十川の天然ウナギです。

岸田首相が襲われた時に「四万十で美味いうなぎはしっかり食べた！」と発言して緊張感が無いと野党から批判を浴びた議員がいましたが、よほど美味かったのでしょうか。美味しんぼにも出てきた「四万十屋」に行き食べました。残念ながら禁漁の時期に来てしまったので天然ものにはありつけませんでしたが、川を眺めながら贅沢な時間を過ごすことが出来、うなぎを美味しく頂きました！



うなぎ四万十屋



## 香川うどん屋巡り

香川県では、うどん屋さん巡りをしました。行列のできる有名店（がもう、山越、日の出長田など）は避けて地元の人に聞いた店に行きました。うどん県と言うだけあって、それぞれにこだわりが強く客は少なかったですが、とても美味しく満足しました。

## 2 回の入院



移住してから2回ほど救急車のお世話になりました。

1回目は、引っ越して間もなく、みぞおちの痛みが激しくて我慢できずに妻に救急車を呼ぶよう頼みました。病名は、「胆石症」で腹腔鏡下手術を行い胆のうを摘出しました。全身麻酔で手術時間は2時間もかからなかったみたいです。3日間の入院で退院できて一週間後には仕事に復帰できました。ご近所さんは胆石なんか病気のうちには入らないよと言ってました。

2回目は、つい最近の出来事で、社友会総会が間近に迫った5月7日です

2, 3日前からお腹周りが痛く連休明けの7日に朝一番で病院へ行き受診しました。腹部の造影検査と血液検査の結果から「腸間膜静脈血栓症」と診断されました。腸の静脈に血栓が詰まって血流がなく炎症を起こして辛うじて他の血管が頑張っている状態。白血球の数値も基準値よりも異常に高く危険な状態なので今から熊本市内の病院へ救急搬送しますとの事でした。血流が無くなると数時間で壊死し深刻な事態になることもあるそうです。ここにも大きな病院があるのに対処できないのか不安になりましたが、ジタバタしてもどうにもならんと覚悟を決めました。妻に連絡し直ぐに来てもらい熊本市内の病院へ搬送されました。到着後すぐに超音波検査実施した後、治療方法の説明を受け血栓を溶かす薬と炎症を抑える薬の投薬治療を行うことになりました。手術は避けられたので少しは気が楽になりましたが、その夜から4日間身動きの取れない針のむしろ状態が続きました。体を動かさなければ痛みはないのですが、トイレなど痛みが激しく大変でした。最初の2日間はカーテン1枚で仕切られた救急患者用の相部屋で、他の患者さんのうめき声やナースコールを呼ぶ音などがうるさくて寝付けませんでした。

## 間に合った社友会総会出席

社友会総会に出席できるかな…飛行機はキャンセルの利かないチケットだしなあ…ホテルの予約もキャンセルしなければ…などなど気が気でありませんでした。

3日目に個室に移り静かに眠れるようになりました。治療の効果が効いてきたのか腹部の触診でも痛みが和らいで希望が出てきました。4日目、腹部の痛みも殆どなく、検査結果が良くて点滴から飲み薬へ変更になりシャワーも浴びサッパリしました。食事もお粥が食べられるようになりました。7日目の回診の時、いつ頃退院できそうか聞いてみたところ、明日の検査結果で退院の日を決めます。早くても15日ですね。私は院内を歩き回り、ロビーで新聞を読んだりTVを見たりして日常を取り戻しつつありました。最終の検査結果は問題なくて5月15日退院することができ、2024年5月18日の社友会総会出席にギリギリ間に合い、安心しました。

健康が一番だとは分かっていますが、これからも適度な運動と食生活に気を付けてストレスフリーのスローライフを楽しみたいと思います。